

図書館だより

令和3年7月19日号

図書館こぼれ話

2020年に生誕65年を迎えたミッフィーの展覧会が今年行われています。併せて図書館でも「ミッフィー展@秋草」を開催中です。展覧会に行けない人も図書館でミッフィーの生誕を祝いましょう。



セミの声が鳴り響き、太陽がジリジリと照りつける夏本番がやってきました。今年の夏も暑くなるようなので暑さ対策をしっかりして、充実した夏を過ごしましょう。図書館では夏の間、みなさんに読書をたっぷり楽しんでもらえるよう長期貸出を行っています。貸出冊数も5冊に増やしていますので、既に配信している先生方の夏のおすすめ本紹介や図書館だよりで気になる本を見つけたら、どんどん借りていってください。館内には怪談ものやひんやりスイーツのレシピ本など、気持ちも体も涼しくなる本も揃っていますよ。

●夏休みのお供にぴったりの1冊

596-オ 『一日がしあわせになる朝ごはん』

小田 真規子 || 料理 大野 正人 || 文
文響社

休みの日はついつい朝寝坊しがち。さらに朝ごはんも食べ損ねてしまいがち。そんな不規則な毎を送らないように夏休みは気をつけたいところです。この本には起きるのが楽しみになること間違いなしの朝食とそのレシピが紹介されています。朝から幸せを感じて充実の夏休みを過ごしてください。

B913.6-サ 『君と夏が、鉄塔の上』

賽助 || 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

中学生生活最後の夏休みを何の予定もなく過ごしていた鉄塔マニアの伊達。しかし伊達の夏休みは破天荒なクラスメイト帆月蒼唯によって急展開を迎える。帆月にだけ見える鉄塔の上の男の子。その正体を明かそうと意気込む帆月に巻き込まれ、伊達は不思議な体験とちょっと切ない青春の味が待つ忘れられない夏休みを送ることに。

●気になる新着本

141-ヨ 『方向音痴って、
なおるんですか?』

吉玉 サキ || 著 交通新聞社
方向音痴克服に挑戦した著者の記録。地図を見てもナビを使っても迷ってしまう人の役に立つヒントがたくさん。方向音痴あるあるに共感する人だけでなく、道に迷わない人が読んでもおもしろく、街歩きをしたくなる本。

●スポーツは本で読んでも熱くなる!!

913.6-サ 『一瞬の風になれ』

佐藤 多佳子 || 著 講談社

ずっと続けてきたサッカーをやめ、陸上競技を始めた新二。そのきっかけをくれたのは長年の友人 連だった。才能に恵まれた連の走りは新二を惹きつけ、闘志に火をつける。仲間であり、憧れであり、ライバルである連をいつか追い抜くという目標を胸に新二は走って、走って、走りまくる。走る楽しさ、苦しさを新二と一緒に感じてみてほしい1冊。

913.6-モ 『DIVE!!』

森 絵都 || 著 講談社

飛び込みという日本ではまだマイナーな競技に青春を捧げる少年たち。10メートルの飛び込み台からプールへ着水するまでのわずか1.4秒の空中演技。失敗すれば水が容赦なく体を打つ。遊びも旅行も勉強も恋もあきらめ、彼らはその1.4秒に全てをかける。自分の可能性を信じ、オリンピックという大きな夢に向けた挑戦が今始まる!

913.6-6 『六人の嘘つきな
大学生』

朝倉 秋成 || 著 角川書店
就職活動の末、最終選考までたどり着いた大学生6人。彼らを待っていた衝撃の選考方法と、そこから繰り広げられる心理戦が見どころです。選考会場に告発文を仕掛けたのは誰なのか、あの時の犯人は本当の犯人だったのか、作中に散りばめられた伏線から推理を楽しんでください。予想を超えるおもしろさが待っています!

●司書の『今月はこの本を読みました』

返却された本の書名に興味を惹かれ読みました。913.6-ツ『つまらない住宅地のすべての家』(津村 記久子 || 著 双葉社)という本です。主人公は活気のない住宅地で暮らす住民たち。活気はないけれど、大なり小なり家庭の問題を抱えている彼らの生活にある変化が起きます。そのキーパーソンは、なんと逃走中の脱走犯。どうやら脱走犯の地元がこの辺で、近くに潜んでいるかもしれないというのです。一人の提案にみんなが巻き込まれ、脱走犯の見張りを始めるのですが、それまで深い付き合いのなかったご近所同士の交流が思いがけない効果をもたらします。つまらない住宅地改め、賑やかな住宅地の物語でした。【今井】